

# 診断ツール NPOマネジメント診断シート

(version\_5)

記入者情報シート	
診断用シート(1)	マネジメント能力
診断用シート(2)	人材
診断用シート(3)	財務管理
診断用シート(4)	プログラム(事業)
診断用シート(5)	事業開発・計画能力

特定非営利活動法人 パブリックリソースセンター

記入者氏名	役職または役割	お立場(あてはまるものに✓を付けてください。)
		<input type="checkbox"/> 代表者(事務局長) <input type="checkbox"/> 理事・役員 <input type="checkbox"/> 専従スタッフ <input type="checkbox"/> 非専従スタッフ <input type="checkbox"/> ボランティア <input type="checkbox"/> その他( )

年代(あてはまるものに✓を付けてください。 貴組織での就業年数 過去に担当した別の役職または役割があればご記入ください。

<input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代以上	年目	
--	----	--

※ご記入者ご自身について質問させていただきます。可能な範囲でお答え下さい。

1. 所属団体に活動を始めたのはいつ頃ですか？

--

2. 活動を始めたきっかけは何ですか？

--

3. これまでに団体でどのような活動に関わってこられましたか？

--

4. 貴組織が現在取り組むべきだと思われる課題があれば、ご記入ください(上位3つまで)

1	
2	
3	

診断用シート(1)

組織の「マネジメント能力」の現状を把握してみよう！

～NPOマネジメント診断①～

組織が活動の成果をあげ、ミッションを達成していけるかどうかは、組織内でミッションの共有化がされたうえでのマネジメントの適否による、といっても過言ではありません。そこで、貴組織の「マネジメント能力」の現状を把握してみましょう。評価する際には、次の点に考慮して下記チェック欄をご記入ください。

- 質問には、「大変よく当てはまる」から「まったく当てはまらない」までの4項目の中から選びご回答ください。どうしても、回答できない、判断しかねる場合は「何とも言えない」をお選びください。
- 7つの視点からの合計50個の質問が用意されています。すべての質問に対して、ご回答をお願いします。
- 評価はできるだけ組織の現状について客観的な視点をもってよく考えたうえでご判断ください。
- 「上記質問・回答に対するコメントをご記入ください」の欄には質問項目に対する不明点、回答に関するコメント等、必要に応じてご記入ください。

↓【チェックスタート】

チェックA : ミッション

<質問>

該当個所に○をご入力ください ----->

大変よく当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	何とも言えない
-----------	---------	------------	-------------	---------

a-1) 明文化されたミッション(使命)が存在している。  
ミッションを書いてください。

a-1

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

a-2) ミッション(使命)は\*1リーダー層・\*2スタッフに理解され、共有されている。

a-2

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

a-3) リーダー層・スタッフは、ミッション(使命)を自分の言葉で説明することができる。

a-3

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

\*1:リーダー層とは理事・事務局長などの意思決定者、責任者のことを指します。

\*2:スタッフとは常勤・非常勤を問わず、有給で働いている職員のことを指します。

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**チェックB :社会的課題・ニーズの把握と組織の客観化**

<質問>

該当個所に○をご入力ください ----->

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらな  
い

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

- b-1) 社会的課題の背景や原因を考慮した上で、ミッションが設定されている。 b-1
- b-2) 組織の代表者やリーダー層およびスタッフは組織の強みと弱みを説明できる。 b-2
- b-3) 課題発見や解決策を構想するための取り組みを行っている。(調査研究、専門家からのアドバイスを得る等) b-3


■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**チェックC :計画・評価**

<質問>

該当個所に○をご入力ください ----->

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらな  
い

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

- c-1) ミッションを実現するために必要な3年程度先を見越した中期目標・中期計画を立てている。 c-1
- c-2) 中期目標の達成度合いを測るための具体的な指標を持っている。  
指標を持っている場合はお書きください c-2


- c-3) 各年度の事業計画を作成している。 c-3
- c-4) 事業計画を全スタッフで共有する機会を持っている。 c-4
- c-5) 一定の時限を定めて、中期目標の達成度合いを確認するための評価活動を行っている。 c-5
- c-6) 評価した結果を、組織や事業の改善のために活用している。 c-6
- c-7) 中期計画の作成と評価には、リーダー層だけでなくその他のスタッフが参加したり提案する場を設けている。 c-7


■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

大変良  
まあ当  
あまり  
まった  
何とも

**チェックD :リーダーシップ・ガバナンス**

<質問>

該当個所に○をご入力ください ----->

く当てはまる  
てはまる  
当てはまらない  
く当てはまらない  
言えない

- d-1) 自由に議論できる組織風土や場がある。 d-1
- d-2) 代表者やリーダー層は、組織の進むべき方向性について、スタッフに伝える努力を常にしている。 d-2
- d-3) リーダー層とスタッフの間で情報が伝達され、共有がなされている。 d-3
- d-4) 適切な意思決定の方法がとられている。 d-4
- d-5) リーダー層や各スタッフの役割と責任が明確に規定されている。 d-5
- d-6) 組織運営や活動、事業に関わる法令を把握し、それらを遵守するための仕組みをもっている。 d-6
- d-7) 理事会などに対し、毎年適切な事業報告と会計報告を行っている。 d-7
- d-8) 理事会の内容が文書として記録されている。 d-8
- d-9) 社会の動きに目を向け、社会のニーズや社会環境の変化に柔軟に対応している。 d-9


■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**チェックE :資金調達**

<質問>

該当個所に○をご入力ください ----->

大変良く当てはまる  
まあ当てはまる  
あまり当てはまらない  
まったく当てはまらない  
何とも言えない

- e-1) 多様な財源をもっている。 e-1
- e-2) 資金調達計画を作成している。 e-2
- e-3) 資金調達をする担当者(兼務を含む)、担当グループもしくはアドバイザーがいる。 e-3
- e-4) 寄付、会費、出資金、市民債券など、組織に共鳴する人たちからの支援的資金を確保する努力をしている。 e-4
- e-5) 会員や寄付者の名簿を作成し、管理している。 e-5
- e-6) 支援的資金は過去3年間を通して増加している。 e-6


■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**チェックF :コミュニケーション、協働への取り組み、情報開示(アカウンタビリティ)**

<質問>

該当個所に○をご入力ください ----->

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらな  
い

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

**◆コミュニケーションに関する質問**

- f-1) 広報の担当者(兼務を含む)、アドバイザーなどがある。 f-1
- f-2) 広報に役立つもの(パンフレット、報告書など)を整備している。 f-2
- f-3) ホームページ(ブログ、twitter、facebookを含む)を適宜、更新し、積極的に活用している。 f-3
- f-4) 有効と思われるマスコミ関係者や広報ルートを把握している。 f-4
- f-5) 社会に対して 効果的にメッセージを発信している。 f-5
- f-6) 社会から理解と支持を得るために、関係者や市民に活動を知ってもらうための説明会を行うなどの努力をしている。 f-6
- f-7) 会員、寄付者、サービス利用者などからの苦情や提案を、積極的に事業に活かしている。 f-7
- f-8) 会員、寄付者などの支援者に対して、コミュニケーションを図る活動を行っている。 f-8


**◆協働への取り組みに関する質問**

事業を展開するうえで適宜、(f-9~13)

- f-9) 行政・公共機関と協力・協議する関係を持っている。 f-9
- f-10) 教育機関、研究機関や専門家との協力関係を持っている。 f-10
- f-11) 自治会などの地縁組織、NPOなどの市民団体や中間支援団体と協力関係を持っている。 f-11
- f-12) 民間企業と協力関係を持っている。 f-12
- f-13) 他の組織と協働を進める上での方針や基準がある。 f-13

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらな  
い

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い


**◆情報開示(アカウンタビリティ)**

- f-14) 法律で定められた事項(定款、組織体制など)をわかりやすく公開している。 f-14
- f-15) 会計報告書を作成し、公開している。 f-15


■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**チェックG : その他(リスクマネジメント、IT関連など)**

<質問>

該当個所に○をご入力ください ----->

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらな  
い

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

- g-1) 組織が直面しているリスクを把握している。 g-1
- g-2) 日々の活動を行う上で想定されるリスクに対して対応策をあらかじめ策定している。 g-2
- g-3) 事務処理等に必要なコンピュータなどの設備が整備されている。 g-3
- g-4) データの損失や情報の漏えいを予防するための対策をとっている。 g-4
- g-5) コンピュータやソフトに詳しい人材(スタッフやボランティアなど)がいる。 g-5
- g-6) 個人情報は適切に管理している。 g-6


■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

診断用シート(2)

## 組織の「人材」の現状を把握しましょう！

～NPOマネジメント診断②～

「組織は人なり」といわれます。職場環境を築き、スタッフがやる気をもって、力を最大限に発揮できるようにすることが求められます。そこで、貴組織の人材・人事に関する現状把握をしてみましょう。評価する際には、次の点に考慮して下記チェック欄をご記入ください。

- 質問には、「大変よく当てはまる」から「まったく当てはまらない」までの4項目の中から選びご回答ください。どうしても、回答できない、判断しかねる場合は「何とも言えない」をお選びください。
- 5つの視点からの合計39個の質問が用意されています。すべての質問に対して、ご回答をお願いします。
- 評価はできるだけ組織の現状について客観的な視点をもってよく考えたうえでご判断ください。
- 「上記質問・回答に対するコメントをご記入ください」の欄には質問項目に対する不明点、回答に関するコメント等、必要に応じてご記入ください。

### ↓【チェックスタート】

#### チェックA : スタッフに求められる資質・能力

<質問>

該当個所に○をご入力ください →

- a-1) 組織の目標を達成するために、スタッフにとって下記にあげる能力、資質をもっていることが重要であると考えています:
- a-1-1) ミッションへの共感
  - a-1-2) ミッションを具現化する構想力・企画力
  - a-1-3) 事業・活動を展開するうえで必要な専門性
  - a-1-4) 生活や現場で起こる個々の事象から、社会課題を汲み取り提起する力
  - a-1-5) 組織運営・マネジメント能力
  - a-1-6) 政策提言能力
  - a-1-7) 他の組織・機関と協働する力
  - a-1-8) コミュニケーション能力
  - a-1-9) 社会環境の変化を察知する能力

大変よく  
当てはま  
る

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらな  
い

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

	大変よく 当てはま る	まあ当 てはま る	あまり 当ては まらな い	まった く当て はまら ない	何とも 言えな い
a-1					
a-1-1					
a-1-2					
a-1-3					
a-1-4					
a-1-5					
a-1-6					
a-1-7					
a-1-8					
a-1-9					

該当個所に○をご入力ください ----->

- a-2) a-1)であげた能力、資質を、既に現状のスタッフはもっていると思いますか？
- a-2-1) ミッションへの共感
  - a-2-2) ミッションを具現化する構想力・企画力
  - a-2-3) 事業・活動を展開するうえで必要な専門性
  - a-2-4) 生活や現場で起こる個々の事象から、社会課題を汲み取り提起する力
  - a-2-5) 組織運営・マネジメント能力
  - a-2-6) 政策提言能力
  - a-2-7) 他の組織・機関と協働事業を行う力
  - a-2-8) コミュニケーション能力
  - a-2-9) 社会環境の変化を察知する能力

大変良く  
当てはま  
る

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらない

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

	大変良く 当てはま る	まあ当 てはま る	あまり 当ては まらない	まった く当て はまら ない	何とも 言えな い
a-2					
a-2-1					
a-2-2					
a-2-3					
a-2-4					
a-2-5					
a-2-6					
a-2-7					
a-2-8					
a-2-9					

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**チェックB : スタッフの確保**

<質 問>

該当個所に○をご入力ください ----->

- b-1) スタッフの離職率は低い
- b-2) 個々のスタッフの事情に応じた就業環境を整備している。(例:在宅勤務、ワークシェアリングなど)
- b-3) 多様な就業形態に対応した就業規則を整備している。
- b-4) 有給スタッフとは雇用契約を結んでいる。
- b-5) 有給スタッフの雇用においては、労働基準法、男女雇用機会均等法等の法令を遵守している。
- b-6) 給与に関する規定を整備している。
- b-7) 給与の額は、継続して働くことのできる水準である。

大変良く  
当てはま  
る

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらない

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

	大変良く 当てはま る	まあ当 てはま る	あまり 当ては まらない	まった く当て はまら ない	何とも 言えな い
b-1					
b-2					
b-3					
b-4					
b-5					
b-6					
b-7					

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**チェックC :スタッフの育成**

該当個所に○をご入力ください ----->

- c-1) スタッフに対して「こんな人材になってほしい」など、期待を伝えている。
- c-2) 業務の内容について正確に記述し、伝えている(職務記述書がある)。
- c-3) スタッフのキャリア形成計画に基づいて、個人目標を設定する機会をもっている。
- c-4) スタッフの目標達成率や能力を評価する機会をもっている。
- c-5) 仕事を通じて「人を育てる」「人が成長する」「わからないことがあれば教える(教わる)」という意識が組織内に根付いている。
- c-6) スタッフが研修などの教育を受けられるよう機会を提供している。
- c-7) 各スタッフはやる気、成長意欲、達成感などを感じて働いている。

	大変良く 当てはま る	まあ当 てはま る	あまり 当ては まらな い	まった く当て はまら ない	何とも 言えな い
c-1					
c-2					
c-3					
c-4					
c-5					
c-6					
c-7					

**チェックD :ボランティアの参加**

該当個所に○をご入力ください ----->

<質 問>

- d-1) ボランティアを積極的に受け入れている。
- d-2) ボランティアに団体のミッションや活動などについて説明し、共有する機会を設けている。
- d-3) ボランティアへのサポート体制(ひとりひとりのボランティアと目的や仕事の内容についてよく話し合う、ひとりひとりと定期的に話し合いを持ち活動を評価するなど)が、整っている。
- d-4) ボランティア保険に加入している。
- d-5) ボランティアのモチベーションを向上させるための工夫をしている。

	大変良く 当てはま る	まあ当 てはま る	あまり 当ては まらな い	まった く当て はまら ない	何とも 言えな い
d-1					
d-2					
d-3					
d-4					
d-5					

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**チェックE :福利厚生・その他**

該当個所に○をご入力ください ----->

<質 問>

- e-1) 社会保険(健康保険・厚生年金)、労働保険(労災保険・雇用保険)について適切な手続きや利用がなされている。
- e-2) 有給休暇、代休、育児休暇など、個々のスタッフの業務や事情に応じて適切に休日が取れるようになっている。
- e-3) 健康診断、仕事のストレスに対する配慮など、スタッフが健康に職場生活をおくれるような体制がとられている。

	大変良く 当てはま る	まあ当 てはま る	あまり 当ては まらな い	まった く当て はまら ない	何とも 言えな い
e-1					
e-2					
e-3					

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

診断用シート(3)

## 組織の「財務管理」の現状を把握しましょう！ ～NPOマネジメント診断③～

財務状態が健全であることは、組織の安定性を保つために欠かせません。  
財務の悪化ははじめは些細なことからはじまり、放置しておくとな致命的な経営問題に発展していくこともあります。  
そこで、日常業務のレベルから貴組織の財務状態の現状把握を試みましょう。  
評価する際には、次の点に考慮して下記チェック欄をご記入ください。

- 質問には、「大変よく当てはまる」から「まったく当てはまらない」までの4項目の中から選びご回答ください。どうしても、回答できない、判断
- 5つの視点からの合計23個の質問が用意されています。すべての質問に対して、ご回答をお願いします。
- 評価はできるだけ組織の現状について客観的な視点をもってよく考えたうえでご判断ください。
- 「上記質問・回答に対するコメントをご記入ください」の欄には質問項目に対する不明点、回答に関するコメント等、必要に応じてご記入ください。

### ↓【チェックスタート】

#### チェックA : 財務管理全般

<質問>

該当個所に○をご入力ください ----->

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらな  
い

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

- a-1) 組織が成果を出せるように、人材や資金などの経営資源を配分している。
- a-2) 支出のうち、総事業費に占める特定非営利活動に係る事業費の割合が80%以上である。
- a-3) 総会または理事会が承認した予算に基づいて財務が執行されている。
- a-4) 経理・会計に関する専門スキルをもった担当者(兼務を含む)、アドバイザーなどがいる。
- a-5) 外部監査が行われている。
- a-6) ボランティアの業務や現物寄付などを金額換算し、大よそどのぐらいか把握している。

a-1				
a-2				
a-3				
a-4				
a-5				
a-6				

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**チェックB :安全性**

<質問>

- b-1) 過去3年間を通して、資本(正味財産)が減少していない。
- b-2) 短期(1~3ヶ月以内)の支払いに対応できる資金がある。
- b-3) 売掛金や未収入金で、長期間未回収のものはない。
- b-4) 借入金がある場合、具体的な返済計画がある。
- b-5) 不必要な支出を削減するために努力している。

該当個所に○をご入力ください ----->

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらない

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

該当し  
ない

b-1						
b-2						
b-3						
b-4						
b-5						

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**チェックC :収益性**

<質問>

- c-1) 過去3年間を通して、収入金額は増加している。
- c-2) 過去3年間を通して、収支は改善傾向にある。
- c-3) 組織運営上の固定費をカバーするのに必要な収入を確保している。
- c-4) 費目別の収支を把握している。
- c-5) 複数の事業を行っている場合、事業別の収支を把握している。
- c-6) 赤字事業がある場合、解消の見通しがある。

該当個所に○をご入力ください ----->

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらない

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

該当し  
ない

c-1						
c-2						
c-3						
c-4						
c-5						
c-6						

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**チェックD :生産性**

<質問>

該当個所に○をご入力ください ----->

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらな  
い

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

- d-1) 生産性向上のための設備投資や機械化(ITの導入)を行っている。
- d-2) 事業部門のスタッフと管理部門のスタッフの人員費をそれぞれ分けて把握している。

d-1					
d-2					

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**チェックE :資金繰り**

<質問>

該当個所に○をご入力ください ----->

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらな  
い

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

- e-1) 資金繰り表を作成し、資金繰りを管理している。
- e-2) 資金繰りが苦しいという状況にはない。
- e-3) 毎月の収入と支出の金額を把握している。
- e-4) 未収入金が発生してから回収までの期間を把握している。
- e-5) 資金不足に陥った場合の対応策を事前に検討している。

e-1					
e-2					
e-3					
e-4					
e-5					

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**必須回答**

診断用シート(4)

～NPOマネジメント診断④～

**組織の「プログラム(事業)」の現状を把握しましょう！**

組織のミッションを達成するために、それを具現化したプログラム(事業)を立案・計画し、実行していくことがNPOの活動そのものといえます。そこで、貴組織のプログラム(事業)について現状を把握してみましょう。評価する際には、次の点に考慮して下記チェック欄をご記入ください。

- 質問には、「大変よく当てはまる」から「まったく当てはまらない」までの4項目の中から選びご回答ください。どうしても、回答できない、判断しかねる場合は「何とも言えない」をお選びください。
- 3つの視点からの合計7個の質問が用意されています。すべての質問に対して、ご回答をお願いします。
- 評価はできるだけ組織の現状について客観的な視点をもってよく考えたうえでご判断ください。
- 「上記質問・回答に対するコメントをご記入ください」の欄には質問項目に対する不明点、回答に関するコメント等、必要に応じてご記入ください。

**■主な事業領域**

下記の事業領域についてお答えください。

事業領域1	
事業領域2	
事業領域3	

↓【チェックスタート】

**チェックA :プログラム(事業)の強みと弱み**

<質問>

a-1) 事業のそれぞれの強みと弱みを挙げてください。

事業領域1について	強み:
	弱み:
事業領域2について	強み:
	弱み:
事業領域3について	強み:
	弱み:

**チェックB :プログラム(事業)の効果、改善事項**

<質問>

該当個所に○をご入力ください ----->

b-1) 事業領域1, 2, 3について、それぞれの事業で具体的な成果目標、成果指標を設定している。

- b-1-1) 事業領域1について
- b-1-2) 事業領域2について
- b-1-3) 事業領域3について

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらな  
い

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

b-1-1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b-1-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b-1-3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■上記質問・回答に関するコメントをご記入下さい。

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらな  
い

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

b-2) それぞれの事業では、成果目標を達成できている。

- b-2-1) 事業領域1について
- b-2-2) 事業領域2について
- b-2-3) 事業領域3について

b-2-1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b-2-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b-2-3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

b-3) 特に改善すべきプログラム(事業)がありますか？

ある    ない    わからない

b-3

「ある」場合、それは何ですか？(記述式)

--

b-4) 今後必要であると思われるが、まだ実施していないプログラム(事業)がありますか？

ある ない わからない  
b-4 

--	--	--

「ある」場合、それは何ですか？(記述式)

--

**チェックC : 今後のプログラム(事業)活動について**

<質問>

該当個所に○をご入力ください ----->

c-1) 3年後の事業展開について明確な将来像がありますか？

ある ない わからない  
c-1 

--	--	--

■上記質問・回答に関するコメントをご記入下さい。

--

c-2) c-1の将来像を実現するために、どのプログラム(事業)に重点を置くべきだと思いますか？

--

**必須回答**

診断用シート(5)

**組織の「事業開発・計画能力・マーケティング」の現状を把握しましょう！**

～NPOマネジメント診断⑤～

社会課題解決への熱意やアイデアを持っていても、それを事業化するための方法を知り、計画して実行していかなければ目的には近づけません。また素晴らしい商品やサービスを持っていても、成果を上げるためには、社会環境の動向を汲み取り、対象者や商品に応じた商品・価格・広報を行うマーケティング能力が不可欠です。そこで、貴組織の事業に関する事業開発・計画能力・マーケティング能力の現状把握を試みましょう。評価する際には、次の点に考慮して下記チェック欄をご記入ください。

○質問には、「大変よく当てはまる」から「まったく当てはまらない」までの4項目の中から選びご回答ください。どうしても、回答できない、判断しかねる場合は「何とも言えない」をお選びください。  
 ○4つの視点からの合計25個の質問が用意されています。すべての質問に対して、ご回答をお願いします。  
 ○評価はできるだけ組織の現状について客観的な視点をもってよく考えたくえで判断ください。  
 ○「上記質問・回答に対するコメントをご記入ください」の欄には質問項目に対する不明点、回答に関するコメント等、必要に応じてご記入ください。

■主な「事業」  
下記の事業についてお答えください。

事業名称1	
事業名称2	
事業名称3	

↓【チェックスタート】

※ 設問中の「対象者」ということは、事業によって「顧客」「受益者」「利用者」「潜在的利用者」などに置き換えてお考えください。

**チェックA : 事業開発・計画**

<質問>

該当個所に○をご入力ください ----->

a-1) 事業の社会的成果(社会におけるプラスの変化や状態の改善、対象者にとっての変化など)について、定量的な目標をたてている。  
(例えば就労支援事業であれば、「就労した人の数」といった、比較的長期的な目標を指します。)

a-2) 事業の定量的な目標を立てている。  
(例えば就労支援事業であれば、「相談会に出席した人の数」といった、比較的短期的な目標を指します。)

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらな  
い

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

事業1					
事業2					
事業3					

事業1					
事業2					
事業3					

該当個所に○をご入力ください ----->

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらな  
い

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

a-3) 事業の定量的な目標達成のための計画を立てている。

事業1					
事業2					
事業3					

a-4) 事業に関連する社会課題に関連する社会環境、政策動向の変化を調べて把握している。

事業1					
事業2					
事業3					

a-5) 事業の対象者のニーズを把握する具体的方法(アンケート調査等)を持っている。

事業1					
事業2					
事業3					

a-6) 同業者の存在を意識し、それとの違いや優位性を実現するための努力をしている。

事業1					
事業2					
事業3					

a-7) 事業の対象者は、明確になっている。

(年齢・性別・居住地・家族構成・趣味や信条・時間の使い方など、対象者について具体的な想定を持っている。)

事業1					
事業2					
事業3					

a-8) 事業展開に必要な資金やその他の資源の調達は、実現可能な計画になっている。

(例えば単年度の助成で立ち上がった事業であっても、その後の継続的な資金の調達が可能になっている、など。)

事業1					
事業2					
事業3					

a-9) 現実的な積算根拠にもとづいて、事業の採算性を把握している。

事業1					
事業2					
事業3					

a-10) 施設や設備は事業を行う上で十分に整っている。

事業1					
事業2					
事業3					

該当個所に○をご入力ください ----->

a-11) 持続可能性を確保するために、必要なボランティアや、資金・資源提供者に向けた資源獲得のための活動を行っている。

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらな  
い

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

事業1					
事業2					
事業3					

a-12) 貴組織で不足している資源は、他の組織との協働やネットワークを活用することで調達している。  
(資源とは、専門性や人材、場所などを含みます。)

事業1					
事業2					
事業3					

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**チェックB :商品/サービス・流通・マーケティングコミュニケーション**

<質 問>

該当個所に○をご入力ください ----->

b-1) 提供するサービス(あるいは商品やプログラム)の内容は、対象者のニーズに沿った適切なものになっている。

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらな  
い

まった  
く当て  
はまら  
ない

何とも  
言えな  
い

事業1					
事業2					
事業3					

b-2) 提供するサービス(あるいは商品やプログラム)は、十分な品質・機能を確保している。

事業1					
事業2					
事業3					

b-3) 対象者のニーズの変化に対応したり、新たな地域課題を解決していくために、常にサービス(あるいは商品やプログラム)の改善、開発に取り組んでいる。

事業1					
事業2					
事業3					

b-4) サービス(あるいは商品やプログラム)の価格は、事業を継続するに足る収益を確保できる水準に設定されている。  
(「価格」は、サービスなどの受け手から対価を得る場合と、委託や助成などによりサービス等を提供する場合の両方を含みます。)

事業1					
事業2					
事業3					

b-5) 事業で提供する商品やサービスの内容や提供方法は、対象者にとって利用しやすいものになっている。  
(例えば施設の立地や場所、販路、オンラインの活用など。)

事業1					
事業2					
事業3					

該当個所に○をご入力ください ----->

- b-6) 提供するサービス(あるいは商品やプログラム)や、対象者の特性に応じた適切な広報活動を行っている。  
(「広報活動」には、有料・無料の広告、セミナーやパーティーの開催、ダイレクトメール、キャンペーンの実施、ニュースリリースなど、あらゆるものを含みます。)

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらない

まった  
く当て  
はまら  
ない

何も  
言えな  
い

事業1					
事業2					
事業3					

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**チェックC :対象者(顧客、受益者、利用者、潜在的利用者など)の管理/対応**  
＜質問＞

該当個所に○をご入力ください ----->

- c-1) 対象者の名簿を整備して顧客管理に利用している。  
(対象者の名前や連絡先だけでなく、いつ何を利用したかなどを記録に残し、効果的なアプローチに活用することが理想です。)
- c-2) 個人情報保護方針を策定し、個人情報を保護する仕組みを整備している。
- c-3) 対象者からの苦情や提案を積極的に事業に活かしている。

大変良  
く当て  
はまる

まあ当  
てはま  
る

あまり  
当ては  
まらない

まった  
く当て  
はまら  
ない

何も  
言えな  
い

事業1					
事業2					
事業3					

事業1					
事業2					
事業3					

事業1					
事業2					
事業3					

■上記質問・回答に対するコメントをご記入ください

**チェックD : 評価／改善**

< 質 問 >

該当個所に○をご入力ください ----->

d-1) 計画に基づいて事業の収益目標を立案し、定期的な実績のチェックを行っている。

	大変 く当て はまる	良 まあ 当 ては まる	あ ま り 当 て は ま ら な い	ま っ た く 当 て は ま ら な い	何 と も 言 え な い
事業1					
事業2					
事業3					

d-2) 計画との差異の原因を分析して次の計画に反映している。

事業1					
事業2					
事業3					

d-3) プログラムが、対象者のニーズを満たしているか定期的に見直して、以降の計画に反映する仕組みをもっている。

事業1					
事業2					
事業3					

■ 上記質問・回答に対するコメントをご記入ください